

大分県森林環境税に関する、県政モニター調査結果

(調査目的)

森林環境税について県民意見を聴取し、今後の施策の参考とする。

(調査概要)

①調査対象：県政モニター（112名）

②調査方法：県政モニターあてアンケート

郵送・・・郵送にて送付、返送

メール・・・メールによるアンケート用紙送付、返信

簡易申請・・・簡易申請システムによる入力、データ出力

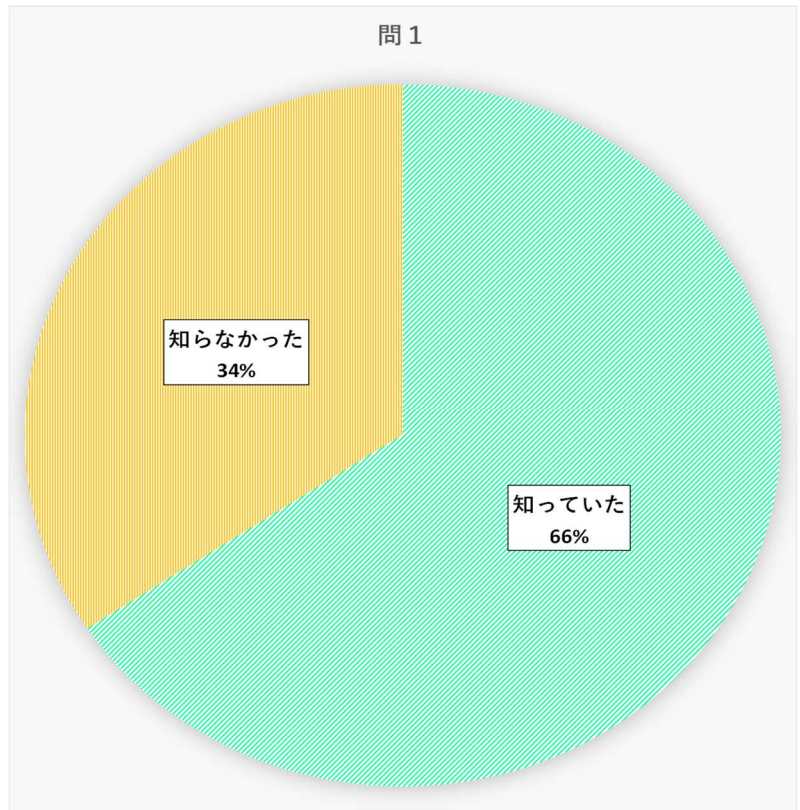
③調査時期：令和3年8月

④回答者数：70名（回答率63%）

問1

大分県内の森林の一部では、森林の手入れ不足により、森林の水源かん養、土砂流出や山腹崩壊の防止など、森林の持つ公益的機能が低下している事例があります。

こうした森林の現状をご存じでしたか？

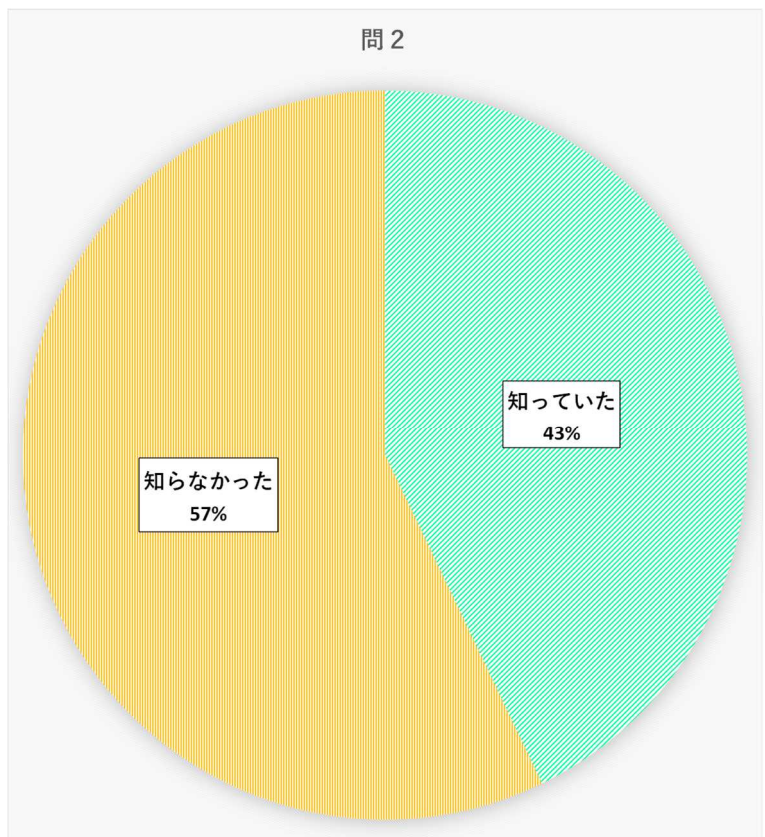


※ 未回答 0件

	知っていた	知らなかった	計
回答数 (人)	46	24	70
割合 (%)	66	34	100

問2

大分県では、「県民の理解と協力のもと、森林環境を保全し、すべての県民が森林を守り育てる意識を醸成する」ことを目的として、平成18年度から森林環境税を導入していることをご存じでしたか？



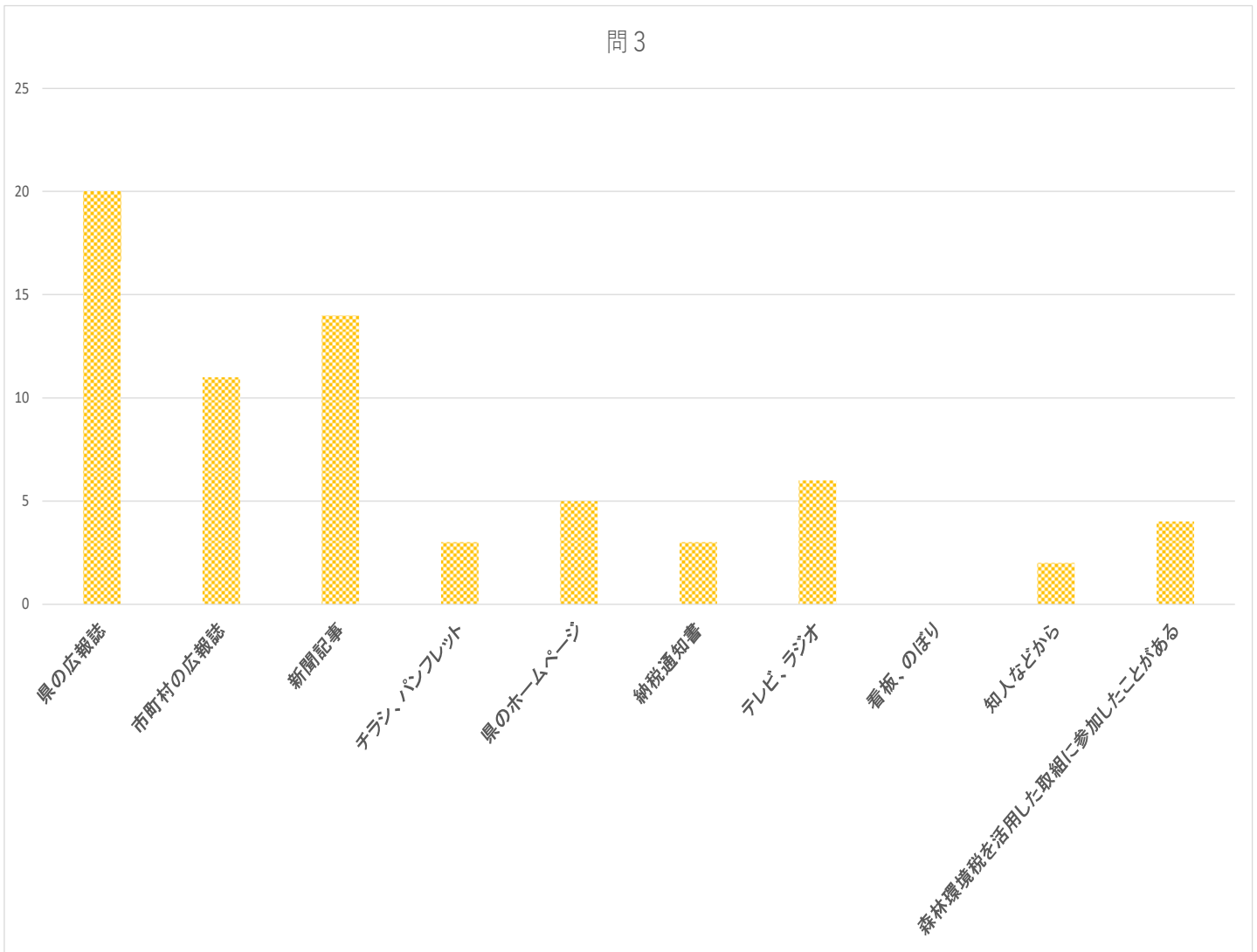
※ 未回答 0件

	知っていた	知らなかった	計
回答数 (人)	30	40	70
割合 (%)	43	57	100

問3 問2で①「知っていた」とお答えいただいた方について、森林環境税を、なにでお知りになりましたか？（複数回答可）

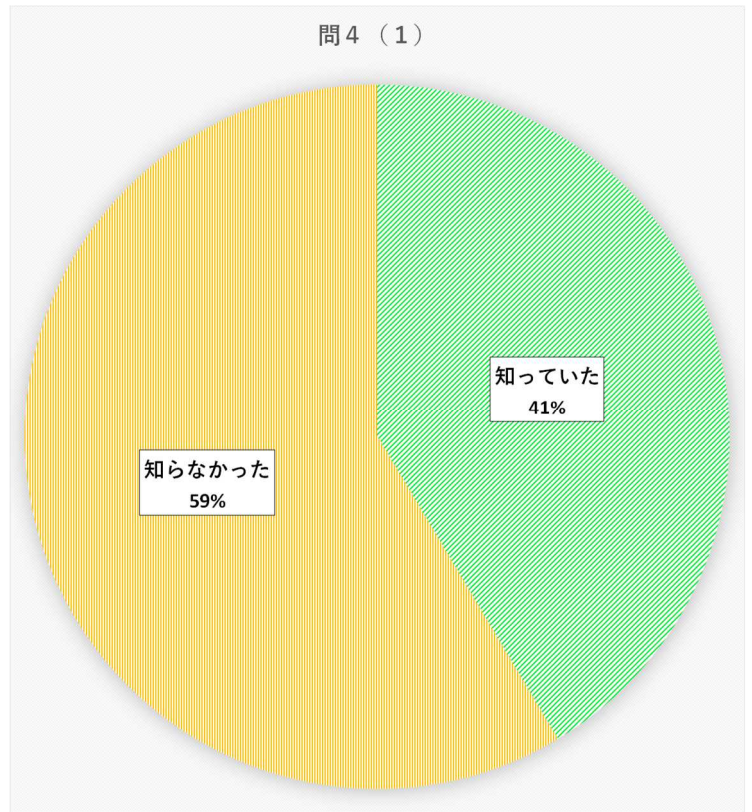
(件)

問3



問4－（1）

森林環境税として、個人から年間500円（個人県民税均等割額に加算）納めていただいていることをご存じでしたか？

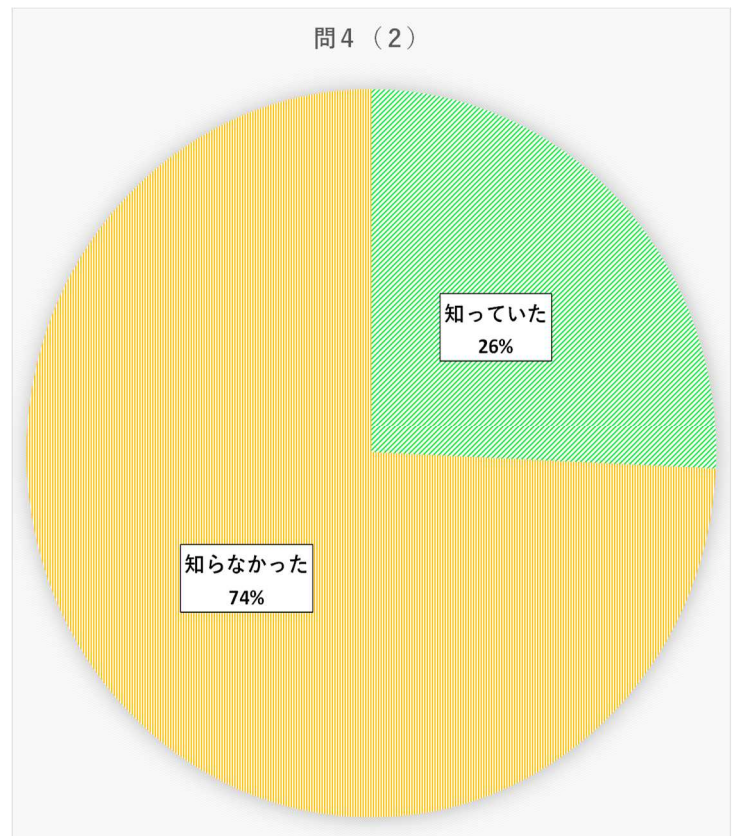


※ 未回答 0件

	知っていた	知らなかった	計
回答数（人）	29	41	80
割合（%）	41	59	100

問4－（2）

森林環境税として、法人（企業）から法人県民税の5%（年間1,000円～40,000円）を納めていただいていることをご存じでしたか？

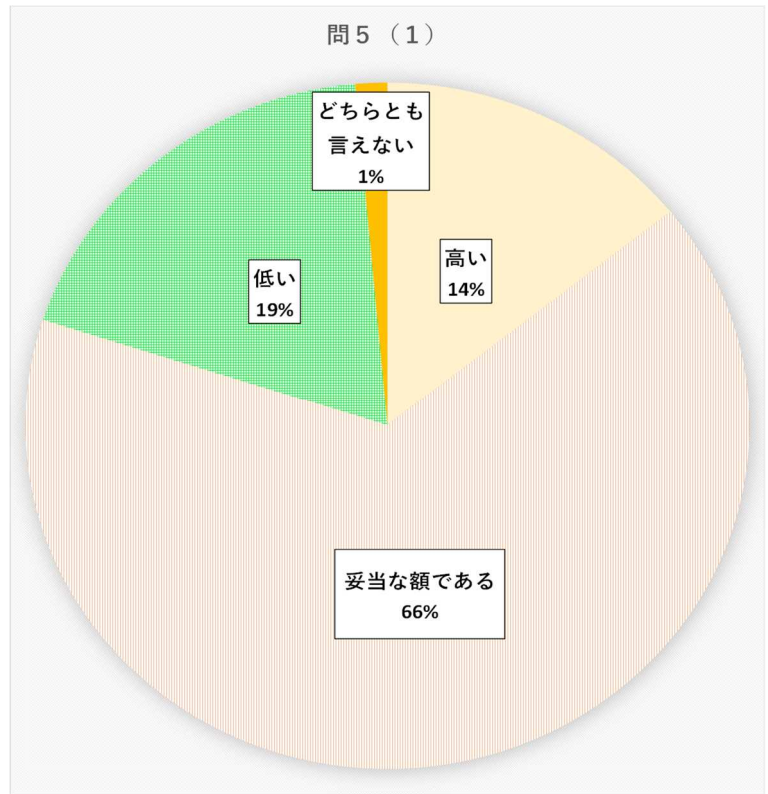


※ 未回答 0件

	知っていた	知らなかった	計
回答数（人）	18	52	80
割合（%）	26	74	100

問5－（1）

森林環境税のうち、個人からの年間500円についてどのように感じますか？

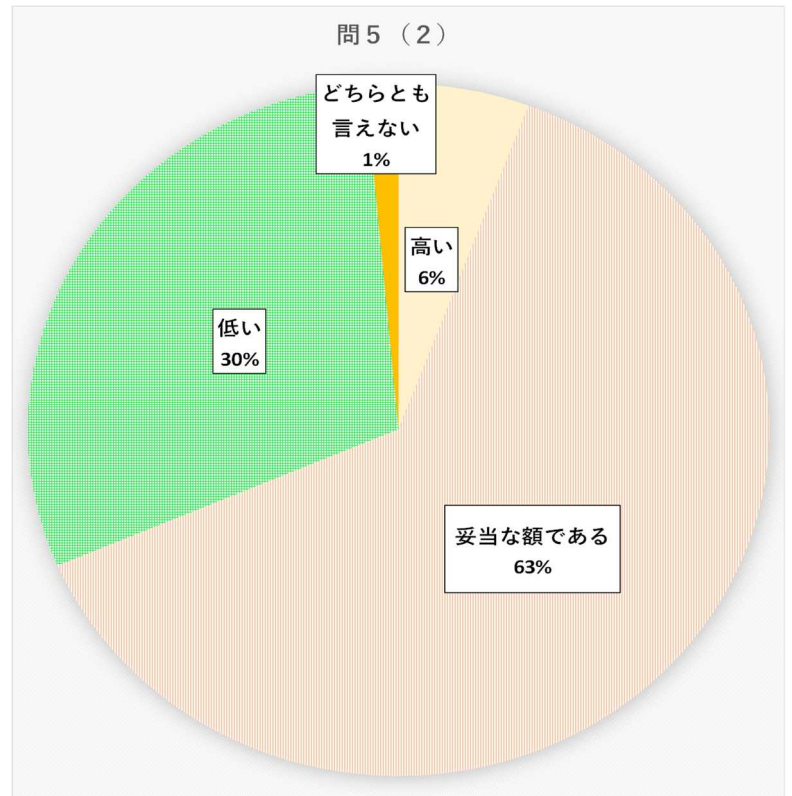


※ 未回答 1件（1%）

	高い	適切な額	低い	計
回答数（人）	10	46	13	69
割合（%）	14	66	19	99

問5－（2）

森林環境税のうち、法人（企業）からの年間1,000円～40,000円についてどのように感じますか？

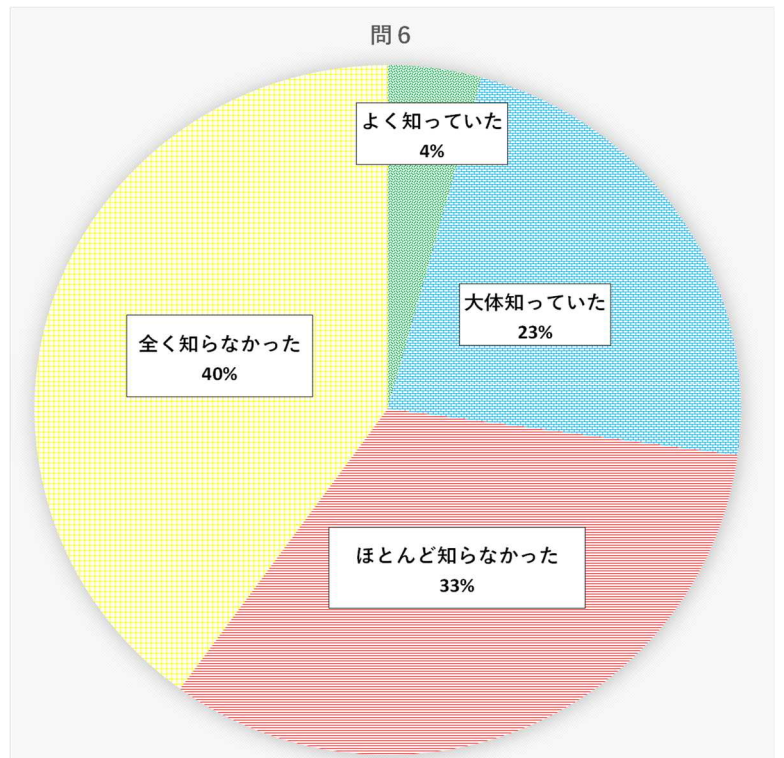


※ 未回答 1件（1%）

	高い	適切な額	低い	計
回答数（人）	4	44	21	69
割合（%）	6	63	30	99

問6

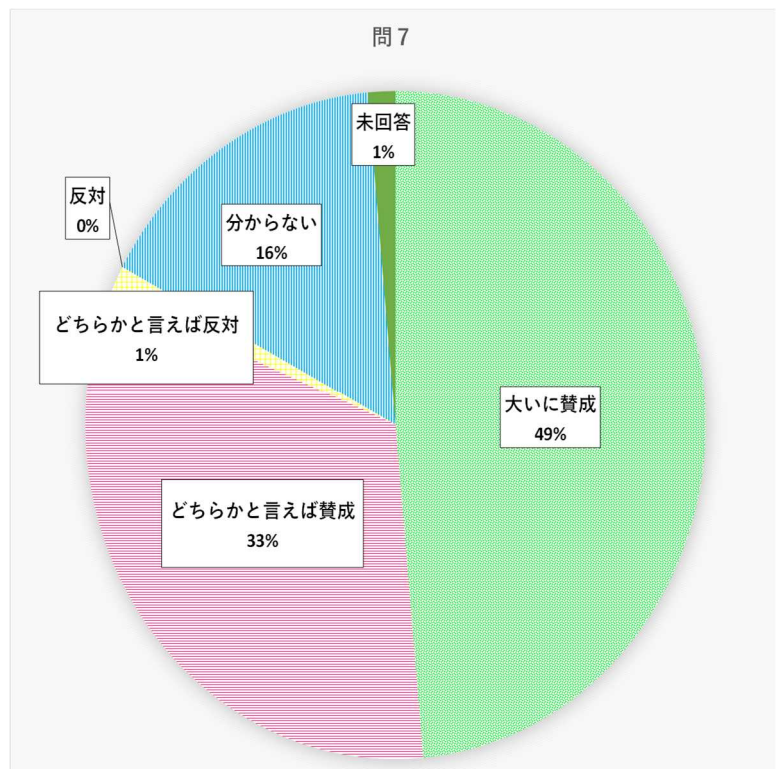
森林環境税を活用した事業をご存じでしたか？



※ 未回答 0件

	よく知っていた	大体知っていた	ほとんど知らなかった	全く知らなかった	計
回答数 (人)	3	16	23	29	70
割合 (%)	4	23	33	40	100

問7 森林環境税を活用した事業について、全体としての評価をどのようにお考えですか？



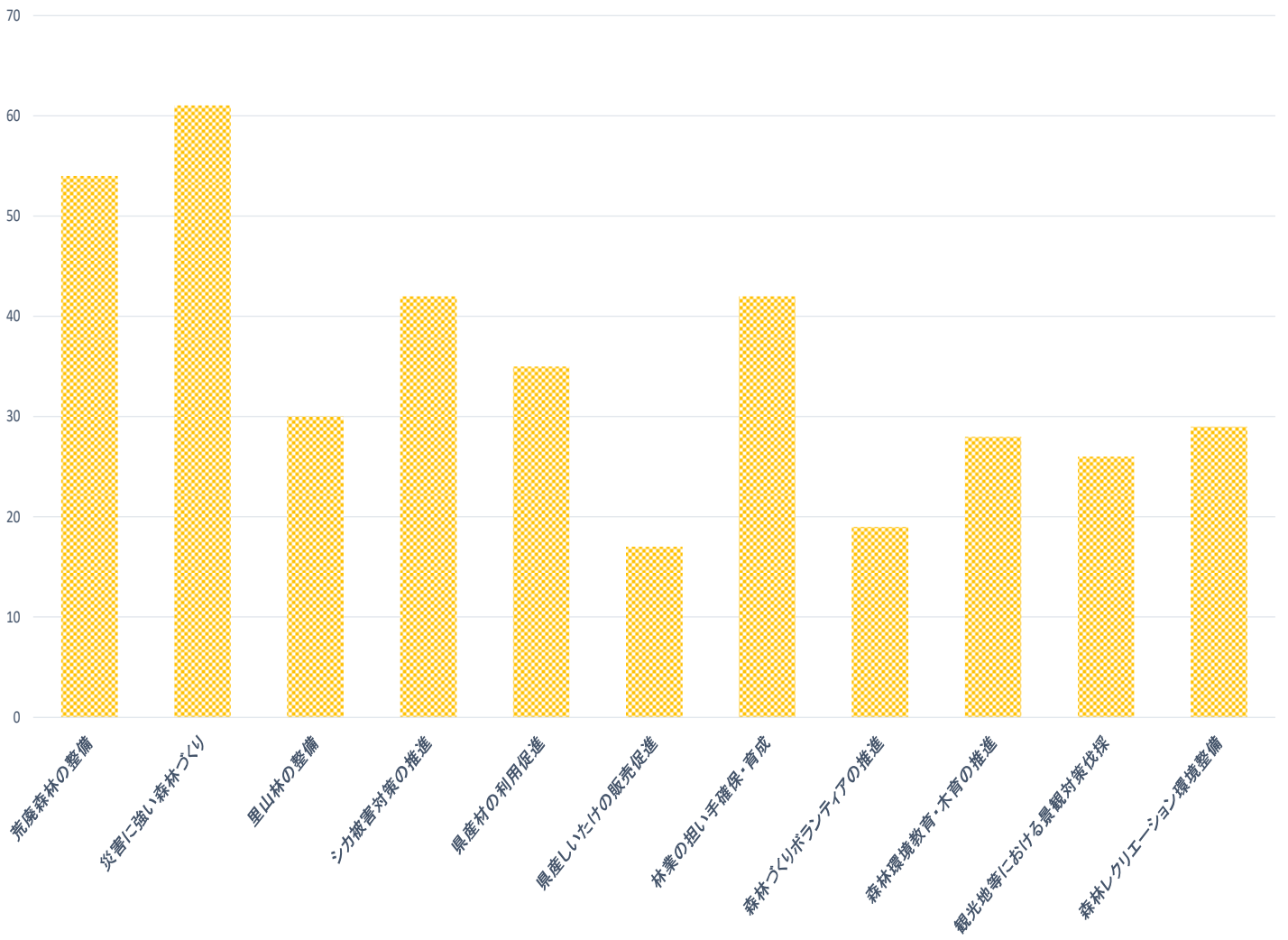
※ 未回答 1件 (1%)

	大いに賛成	どちらかと言えば賛成	どちらかと言えば反対	反対	わからない	計
回答数 (人)	34	23	1	0	11	69
割合 (%)	49	33	1	0	16	99

問8 森林環境税の用途について、どのような取り組みに重点を置くべきだと思いますか？
(複数回答可)

(件)

問8



問9 問8のほか、今後、森林環境税を活用した方がよいと思う取組があれば記入ください。

(**荒廃林整備、災害に強い森林づくり**)

- ・ 森林の保全は県民の安心安全にとって極めて重要なことだと思います。
- ・ 住民の安全性が確保のために現状の実態把握や安全対策に森林環境税を活用すべきだと思う。
- ・ 災害対策としての活用
- ・ 最近では杉の伐採後にメガソーラー開発が多く見られるのですがこれは大雨の際に土石流の発生になりやすいのではとも思ってる次第です。その為、環境税でその周辺の定期的な地盤の調査をしたらいいのでは。
- ・ 台風水害等、河川から流出した流木の処理
- ・ 自然を守る取り組み（山腹崩壊・水路の損壊などに対して）
- ・ 地滑りなどの災害防止に活用しては
- ・ 荒廃した森林の強度間伐。機能回復のため多様化と回復事業の推進

(**里山林整備**)

- ・ 景勝地以外にも、高齢者が多くいる地域の既林道で草木等で通行がし難いまた木が生い茂り既林道からの景観が見えなくなっているエリアの伐採支援。
それにより中山間で山林を所有している者及び家族が山林活用の意識が向上するとともに山林を訪れる人が増えると思われま。
- ・ 動物の生存を脅かさない共存できる自然地域を設定して自然の大事さを未来の人々に伝える。
- ・ 猪、鹿、猿、野兔、キツネ、タヌキなど、野生の動物が生きていける特別区も作って欲しいです。
そして、生け捕りにした場合、その特別区に逃がして欲しいです。
- ・ 鳥獣被害が多く困っている。ハンターを増やし育成してほしい。
- ・ 院内町の大谷溪谷には絶滅危惧種のオオサンショウウオが生息。車両の進入や不法投棄で自然が破壊されぬよう整備
- ・ イノシシ被害に困っている。鳥獣被害対策
- ・ 「森林と海」の関係をもっとPR

(**景観対策**)

- ・ 西大分から高速までの道は高崎までが、薄暗いがこの緑が今はとても大事。ただ、ほんの少しで良いので少し整備をすれば、西大分港にできるホーバー乗り場からとても良い景観ができて、これからできる宇宙港へと大分の発展へとつながり、大分のイメージアップにもなるのでは。
- ・ 景観を妨げる木の伐採等による景勝地・観光地の景観再生

緑豊かな自然の大分県をアピールしたいし、多くの観光客の方にコロナ禍で足が止まっている状態を打開策にしてほしい。

(林業振興)

- 大型建設機械の購入補助事業。

(地球温暖化対策)

- CO2 削減を実現させるために、持続可能な社会をつくる為に現代の人に求められていることの理解を進める必要も感じている
- 温暖化防止に対する税の活用

(林産物利活用推進)

- 大分県産の杉や檜を使用した住宅に補助金を出して欲しい
- 日本の大工さんの技術が生かされる真壁造りを補助して欲しい
- 木造船の技術がなくなる前にデータの記録をして欲しい
- 自動カンナ盤、ホゾ取り機、パネルソー、NC 加工機、プレス機などの設備を持っているのに、建具屋さんを廃業してしまう会社がございますので、得意先や仕入先を現在の形のまま、身内でない後継者を公募して譲り渡せるような事業を計画して欲しい
- 県産材利用促進の補助は必要ない(良い物は補助が無くても使われます)
- 県産材を使ってお家を建てた場合、補助がでるといい
- 自然保護のために県産材を道の駅や小さな駅舎に使ってほしい
- 林業への興味を高めるために学校現場への木製机・椅子の導入

(担い手対策)

- 林業従事者への雇用対策。
- 林業の担い手確保・育成教育の早期取り組み。
- 新規に林業に就業者には見習い期間が必要。仕事を続けていける環境作りがほしい
- 担い手の確保は急務。林業の高齢化を特に感じている

(森林レクリエーション)

- 林レクリエーション機能の向上を目的とした環境整備(森林公園内の施設等の整備)はもっと大々的に行うべき
- コロナ禍で多くのキャンプ場は密になりつつあり、高額なものもありますから、県としての使いや

すく安価なものを提供で来たら良いのでは

- ・森林レクリエーション機能の向上を目的とした環境整備（森林公園内の施設等の整備）

(森林ボランティア・森林環境教育)

- ・森林環境を守るためには、子供達に、森林環境教育をしていくことが大切だと思います。
- ・特に子どものおもちゃや遊具など、触れる機会が増えると、森林への意識も高まると思います。
子育て支援拠点などの室内遊具も木製になるととても良い。（熊本県阿蘇郡小国町を参考に）
- ・大分県の森林公園などに誘導して、新たな環境の見直しと、「心の教育をしたい」と願っています
- ・子ども達への森林環境教育や木育（木材利用に関する教育活動）の推進に特に力を注いでほしい
- ・子ども達への森林環境教育や木育（木材利用に関する教育活動）の推進強化、未来の緑豊かな国造りの心を教育の中に沢山取り入れる
- ・森林環境保全の必要性和、そこから考えられる教育を今より一層行い、若い世代からの考え方の育成を行う必要あり
- ・全国的に災害が多発。環境を学ぶセミナー（一般参加）や研究に力をいれてほしい。
- ・森林づくりだけでなく「経営」や「遊ぶ・学ぶ」ための森の活動も必要なもの。

問10 その他、森林環境税についてご意見があればご記入ください。

(賛成意見等)

- ・森林環境税の事を知らなかったの、みんなに知ってもらえるような、活動をお願いしたいと思います。それが森林環境の向上に繋がる
- ・世界森林環境税で発展途上国への支援もお願いいたします。
- ・環境税良い事と思います。企業により協賛してもらうため、木製の看板等で景観に影響しないように協賛企業名前を掲示すると共に県のHPで協賛企業を紹介しては。
- ・森林環境税は今以上に徴収していいのではないかと考える。森林環境税の内訳、特に防災・減災の要素を含んでいることを強調し、納得を得る必要がある。
- ・環境を害する物質を、地方部に比べ都市部が多く排出しているのであれば、税額については地方部の負担より都市部の負担を多くするなどの配慮があっても良いかと思います。
- ・県民1人500円との事ですが、働いてる世代は良いのですが年金だけで生活している世帯はどう思うのでしょうか？若い世代(30代~定年まで)の世代がもう少し負担しても良いのでは。
- ・未来を見据えた森林環境教育の推進強化するための活動費が不足ならば、一人当たりの金額を倍額千円にすることも必要だと思う
- ・昨今の異常気象は 先代の森林環境保護への取り組み方に保護という言葉が抜け落ちた結果だと感じる事が有ります。その為に必要ならば 森林環境税増額も必要。

（反対意見等）

- 森林環境税の徴収は、県民に周知されていない。知らない間に新税を負担させられている。

（森林環境税の認知度とPRについて）

- 私の周りの人に森林環境税を知ってるかと聞いたら、数人が知らないと答えました。
それだけ県民に浸透していないと感じました
- 税と言われるものに対しての反発はあると思うが、まず「森林環境税が徴収されている」という事を、多くの人に認識してもらおう。そして理解協力をお願いすることが、必要である。知らない人も随分いると思う。
- 森林環境税について、もっともっと県民に分かるような場面を作っただけなら。
- もっと県民の多くにアピールする場を設けてほしい。
- 森林環境税について多くの県民が知らないと思います。県民に周知する対策が極めて重要だと思います。
- 取組内容をもっとPRしたほうがいいと思う。
実際何に使われているのかは、調べないと分からない事が多い。その為、税金の必要性が見いだせない人も多いのでは？
- 県民にいま少し、広報する必要がある
- 森林環境税の周知をもっと広くしてほしい。大変有意義な施策だ。
- 森林環境税自体が周知されていない。どんな活動に税が利用できるか理解されればいろんな意見も出るし理解も深まる。
- 森林環境税は必要な税。会計報告を分かりやすくするのも大切。
- 森林環境税の個人の負担が小さいと感じる。1,000円ぐらいが妥当と思う。
- 森林環境税は税額がとても少ないと感じる。
- 森づくりは現在の経済テンポに合いませんが、温暖化防止のためには重要です。環境税も人間が考えた知恵です。応援しています。